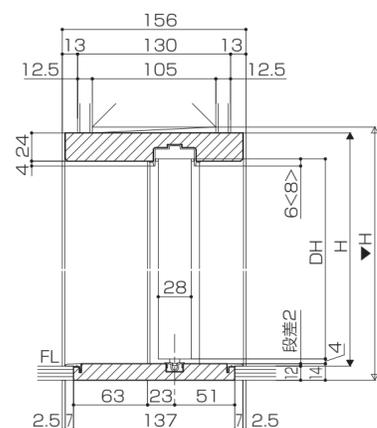




リビング建材 ファミリーライン  
**室内引戸Vレール方式**  
**取付け説明書**

■室内引戸 Vレール方式 引分け戸 ノンケーシング

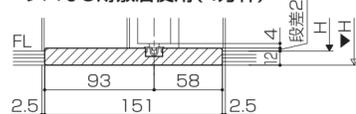
●縦断面図



ツバ付薄敷居使用(3方枠)

※<>内はフラットレール納まりの寸法を示します。

・ツバなし薄敷居使用(4方枠)

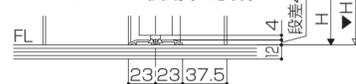


・埋込敷居使用(3方枠)

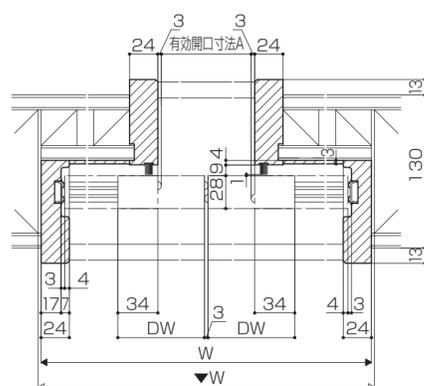


	NC156	NC171	NC180
B寸法	0	7.5	12

・フラットレール使用(3方枠)



●横断面図

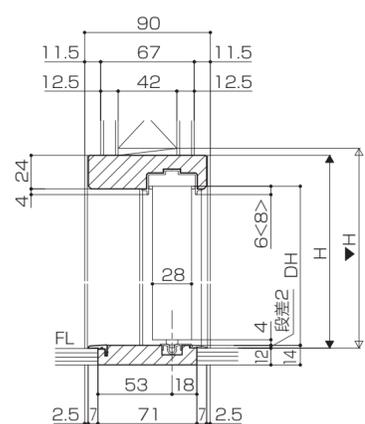


W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W32(3251)	1567	H20(2023)

※枠の見込み寸法が変わっても、レールの位置は中縦枠木口より共通の位置(23mm)となります。

■室内引戸 Vレール方式 片引戸 ノンケーシング90

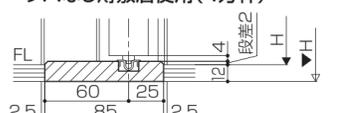
●縦断面図



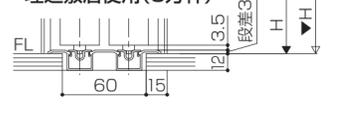
ツバ付薄敷居使用(3方枠)

※<>内はフラットレール納まりの寸法を示します。

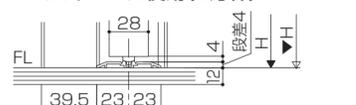
・ツバなし薄敷居使用(4方枠)



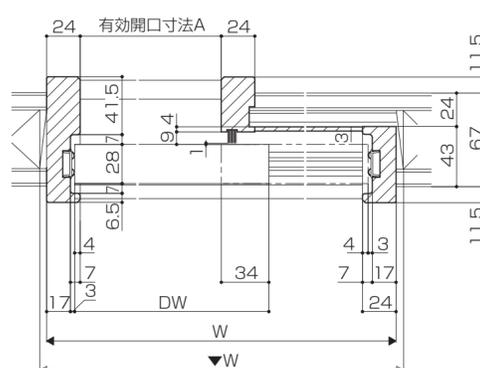
・埋込敷居使用(3方枠)



・フラットレール使用(3方枠)



●横断面図

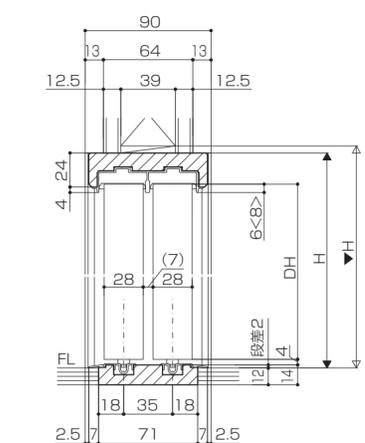


W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W12(1188)	553	H20(2023)
W14(1454)	686	
W16(1644)	781	

※枠の見込み寸法が変わっても、敷居の位置は縦枠のセンターより共通の位置となります。

■室内引戸 Vレール方式 引違い戸2枚建 ノンケーシング90

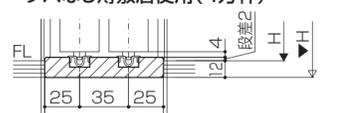
●縦断面図



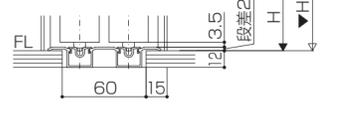
ツバ付薄敷居使用(3方枠)

※<>内はフラットレール納まりの寸法を示します。

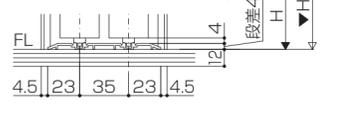
・ツバなし薄敷居使用(4方枠)



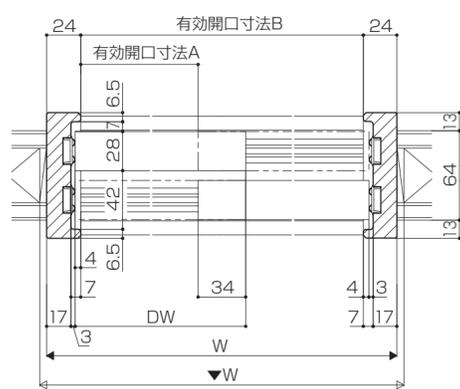
・埋込敷居使用(3方枠)



・フラットレール使用(3方枠)



●横断面図



W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	H呼称(枠外寸法)
W16(1644)	781	1596	H20(2023)

※枠の見込み寸法が変わっても、敷居の位置は縦枠のセンターより共通の位置となります。

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

●本体と鴨居へのかかりを5mm以上確保してください。かかりが少ない場合は、建付け調整を必ず行ってください。本体が枠から外れてケガをする原因になります。

■取付け上のお願

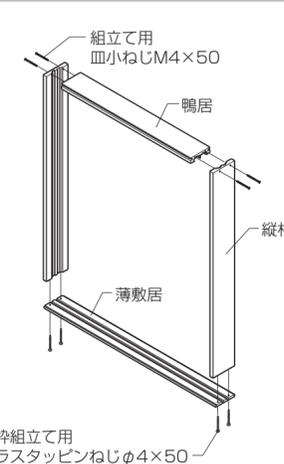
- 本製品は、ケーシングタイプ薄壁用は壁厚(111~141mm)、厚壁用は壁厚(142~182mm)、3枚建・片引き2枚建は壁厚(146~188mm)、片引き3枚建は壁厚(186~216mm)に取付けられます。
- ノンケーシングタイプNC90は壁厚(50~75mm)、NC115は壁厚(76~100mm)、NC156は壁厚(116~130mm)、NC171は壁厚(131~145mm)、NC180は壁厚(146~160mm)、NC210(片引き3枚建)は壁厚(170~190mm)に取付けられます。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれなどのないよう(特に中縦枠)注意してください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 本体は落下させたり、立てかけるときに衝撃を与えないでください。戸車部の樹脂部品がキズ付き、開閉に支障をきたす原因になります。
- 片引き・引分けの建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから取付けしてください。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買求め店までご連絡ください。(取付け後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のねじでは取付けできません。現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。

■本体保管上のお願

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。  
 ・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気が多い場所
- 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

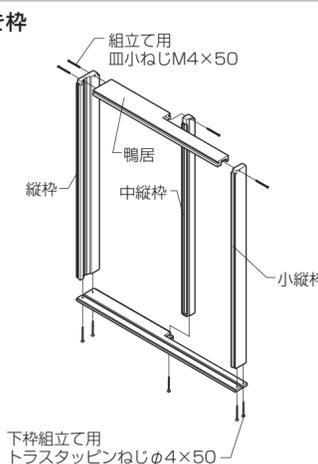
■部品・部材の名称

●引違い枠



下枠組立て用  
トラスタッピンねじφ4×50

●片引き枠



下枠組立て用  
トラスタッピンねじφ4×50

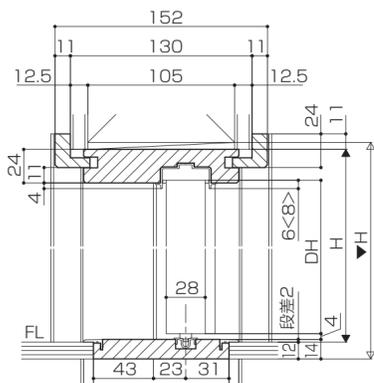
※図はツバ付薄敷居使用の場合を示す。



■納まり図

■室内引戸 Vレール方式 片引戸 ケーシング付

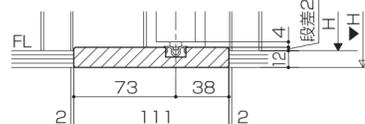
●縦断面図



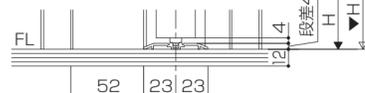
ツバ付薄敷居使用(3方枠)

※<>内はフラットレール納まりの寸法を示します。

・ツバなし薄敷居使用(4方枠)

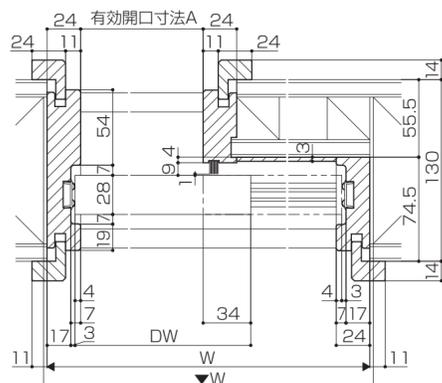


・フラットレール使用(3方枠)



W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W12(1188)	553	H20(2023)
W13(1324)	621	
W14(1454)	686	
W16(1644)	781	
W18(1824)	871	

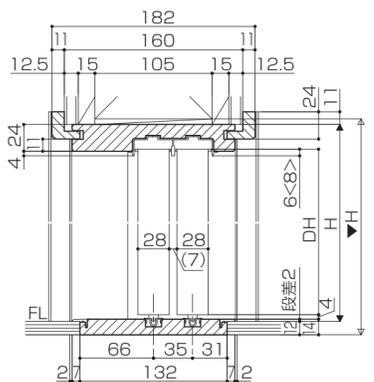
●横断面図



● 枠見込み: 90・115mmの設定はありません。  
 ※枠の見込み寸法が変わっても、レールの位置は中縦枠木口より共通の位置(23mm)となります。

■室内引戸 Vレール方式 片引戸2枚建 ケーシング付

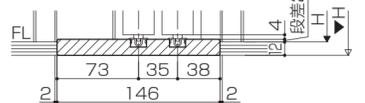
●縦断面図



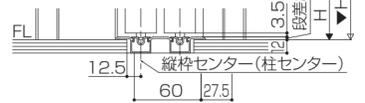
ツバ付薄敷居使用(3方枠)

※<>内はフラットレール納まりの寸法を示します。

・ツバなし薄敷居使用(4方枠)



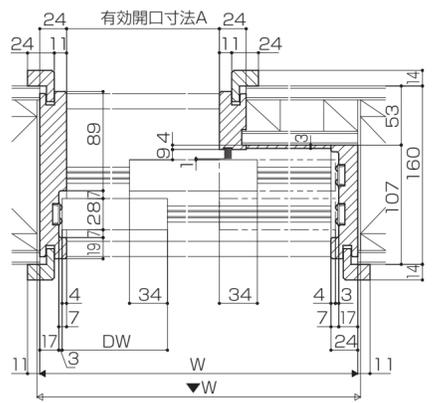
・埋込敷居使用(3方枠)



・フラットレール使用(3方枠)



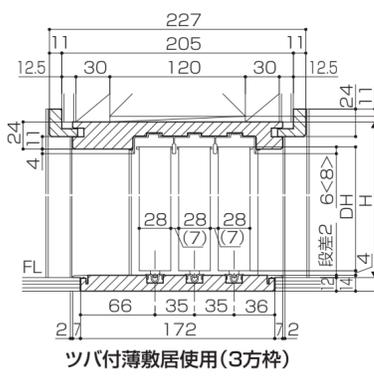
●横断面図



● 枠見込み寸法が変わっても、レールの位置は中縦枠木口より共通の位置(23mm)となります。

■室内引戸 Vレール方式 片引戸3枚建 ケーシング付

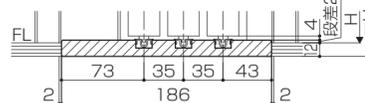
●縦断面図



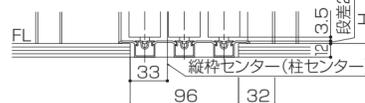
ツバ付薄敷居使用(3方枠)

※<>内はフラットレール納まりの寸法を示します。

・ツバなし薄敷居使用(4方枠)



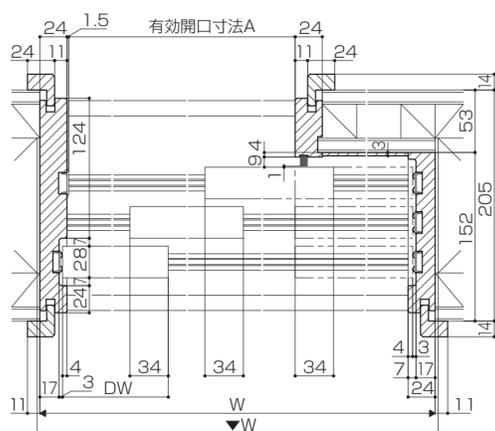
・埋込敷居使用(3方枠)



・フラットレール使用(3方枠)



●横断面図



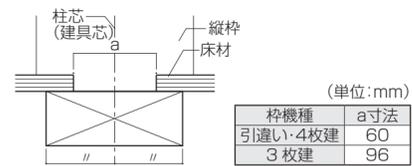
W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W32(3214)	2349.5	H20(2023)

■床の張り方

【埋込敷居の場合】

●引違い・3・4枚建

●床材間に埋込敷居が入りますので、柱芯(建具芯)を中心にa寸法あけて、床材を張ってください。  
 ※床材の開口寸法(a寸法)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込敷居が入りにくい原因となります。



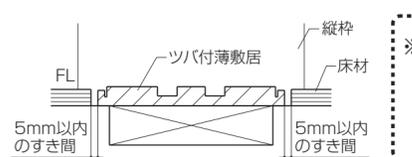
●片引き・引分け

●床材間に埋込敷居が入りますので、柱芯(建具芯)より引込み側にb寸法あけて、床材を張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所にb寸法あけて、床材を張ってください。  
 ※床材の開口寸法(b寸法)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込敷居が入りにくい原因となります。  
 ※フラットレールを使用する場合、床乗せの仕様になるため、床の開口をつくる必要はありません。



【ツバ付薄敷居の場合】

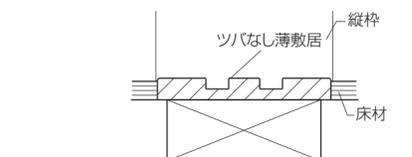
※枠の取付け後、下図のように床材を張ってください。



●お願い  
 ※床材と薄敷居のすき間は5mm以内にして下さい。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあげないでください。

【ツバなし薄敷居の場合】

※枠取付け後、縦枠・薄敷居にそって床材を張ってください。



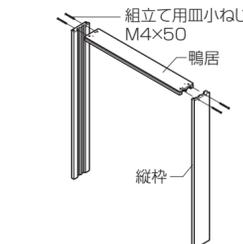
■取付け順序

1 枠の組立て

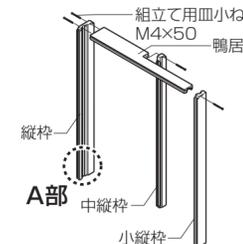
【埋込敷居・フラット下レール使用の場合】

●下図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

●引違い枠

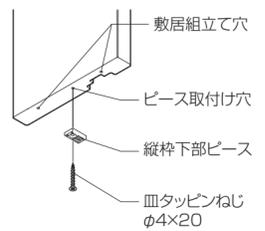


●片引き枠



■A部詳細図(片引き2枚/3枚の場合)

※縦枠の下部に縦枠下部ピースを同梱のピース取付け用皿タッピンねじφ4×20で取付けてください。  
 ※片引き2枚建の場合は1個、片引き3枚建の場合は2個取付きます。

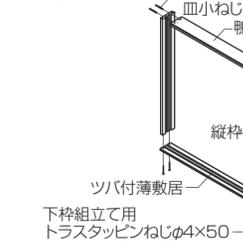


※NC90/115の場合、組立て用ねじ部に穴埋めシールを張付けてください。

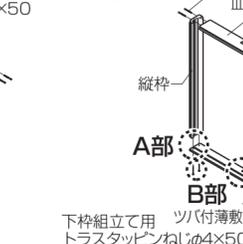
【ツバ付薄敷居使用の場合】

●下図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)およびトラスタッピンねじφ4×50)で固定します。

●引違い枠



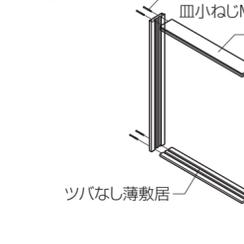
●片引き枠



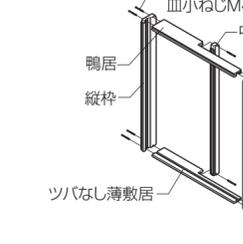
【ツバなし薄敷居使用の場合】

●下図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

●引違い枠

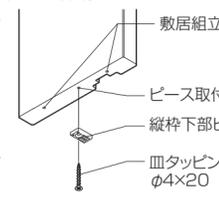


●片引き枠



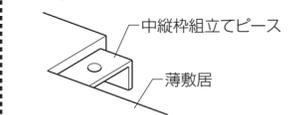
■A部詳細図(片引き2枚/3枚の場合)

※縦枠の下部に縦枠下部ピースを同梱のピース取付け用皿タッピンねじφ4×20で取付けてください。  
 ※片引き2枚建の場合は1個、片引き3枚建の場合は2個取付きます。



■B部詳細図

※中縦枠をピースの上のせ、薄敷居に同梱のねじ(トラスタッピンねじφ4×50)で下から固定します。



【ツバ付薄敷居】

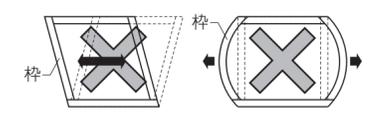
- 片引き
- 引違い

【ツバなし薄敷居】

- 片引き
- 引違い

●枠組立て上のごお願い

※ガイド穴にゴミなどが入らないようにして下さい。  
 ※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んで下さい。ただし、叩き込まないようにして下さい。保持力低下などの原因となります。  
 ※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

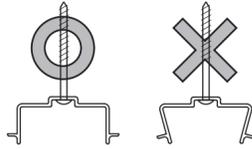


**■ 枠の取付け**

開口部と、縦枠・(中縦枠・小縦枠)・上枠との間にかい木を入れて取付けます。

**----- 枠取付け上のお願ひ -----**

※片引き・引分けの建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから施工してください。  
 ※鴨居取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを变形させると本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。

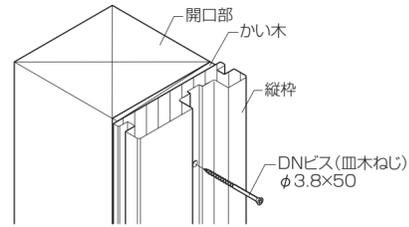


**● 鴨居**

※鴨居はトラスタッピンねじφ4×50で固定してください。

**● 縦枠・小縦枠**

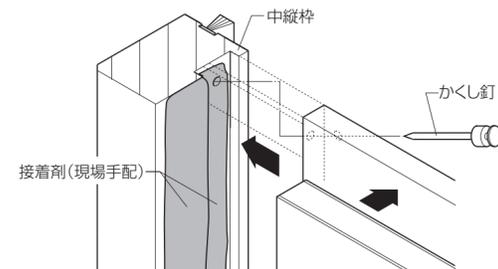
※DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定してください。



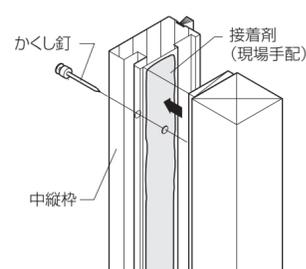
**● 中縦枠**

※裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。

**■ NC90、115の場合**



**■ C付/NC156、171、180、の場合**

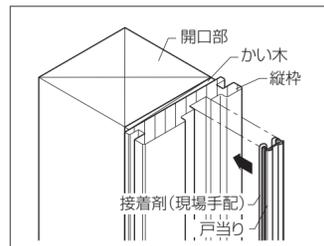
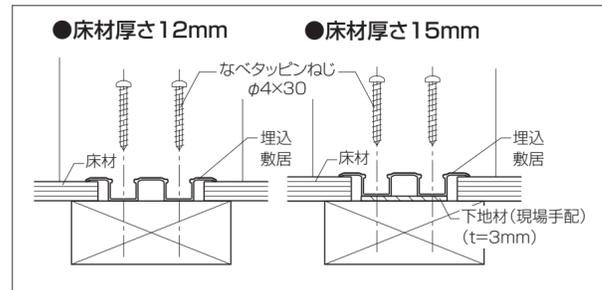
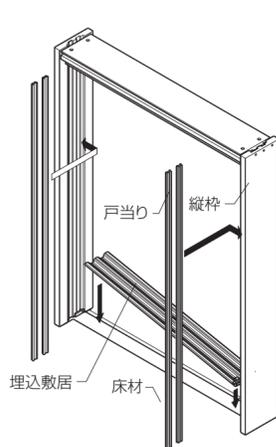
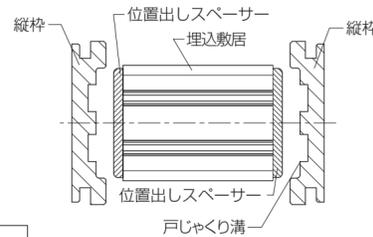


**【埋込敷居の取付け】**

**● 引違い枠**

(3・4枚建枠は引違い枠に準じる)

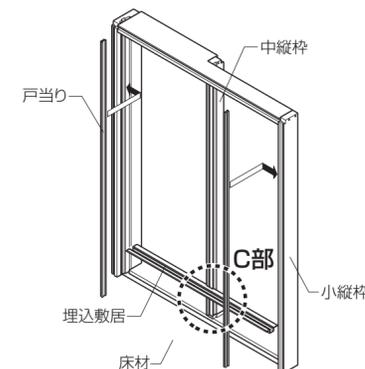
- ①埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
  - ②同梱のねじで固定します。
  - ③戸当りに接着剤(現場手配)を付けて溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず、敷居取付け後に取付けてください。



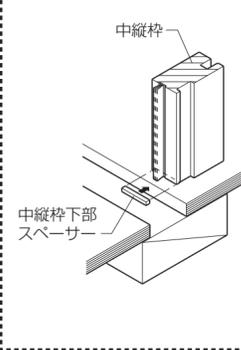
**● 片引き枠**

(引分け・片引き2・3枚建は片引き枠に準じる)

- ①埋込敷居およびフラット下レールに同梱の中縦枠下部スペーサーを、リップ面を上向きにして中縦枠のすき間に入れてください。
- ※以下は引違い枠を参照してください。

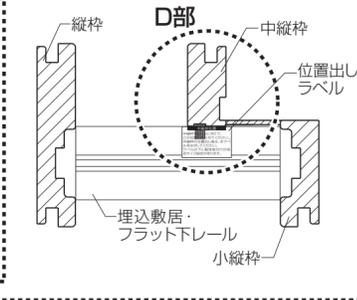
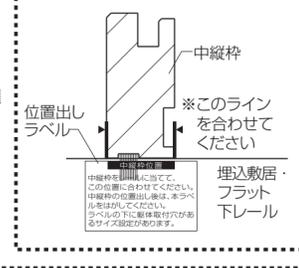


**■ C部詳細**



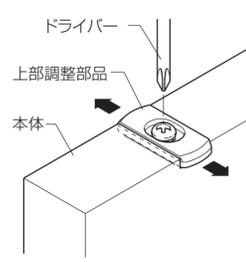
●片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分け戸の場合、中縦枠の位置出しは、埋込敷居およびフラット下レールの位置出しラベルに合わせて取付けてください。

**■ D部詳細**



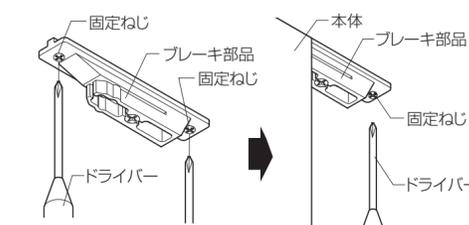
**【左右調整(調整幅±2mm)】**

- ①本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。
- ②本体上端の上部調整部品のねじをゆるめ、①で調整した分だけ上部調整部品をずらし、ねじを締直します。(本体が常に垂直になるように調整してください。)



**【ブレーキの左右調整】**

本体の左右調整時、ブレーキの左右調整も行ってください。上レール内側に付いているブレーキ部品の固定ねじをゆるめ、下図のように本体を途中まで閉じてください。このまま片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。



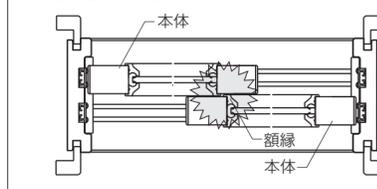
**【ブレーキ力調整】**

上レール内側に付いているブレーキ部品の調整ねじで、ブレーキ力を調整してください。

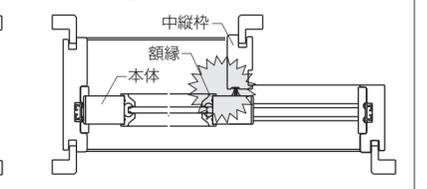
----- ブレーキ力調整上のお願ひ -----  
 ※調整ねじを弱方向に回す場合は、ブレーキの表面よりねじ頭を1.5mm以上出さないように調整してください。

※左右調整する場合は、本体同士がぶつからないようにご注意ください。又、本体と中縦枠モヘアが接触しすぎて、開閉が重くならないよう調整してください。

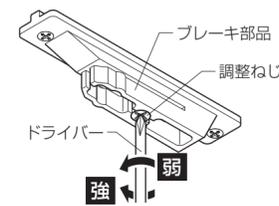
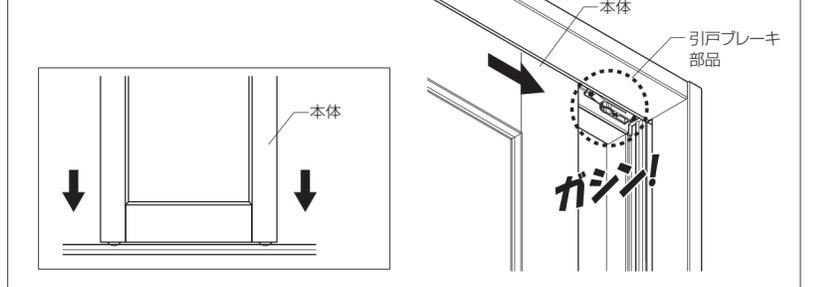
**● 引違い・3枚・4枚建**



**● 片引き・引分け**

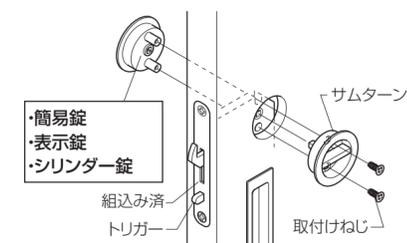


●本体がブレーキ部品にあたる時は、上下調整ねじを回して本体を下げてください。



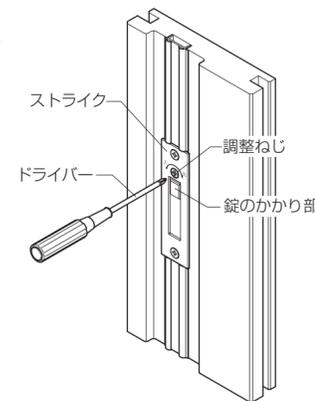
**■ 引戸錠(サムターンの取付け)**

別売りの錠を右図のように組立ててください。  
 ※取付けねじを締める時に、いったんトリガーを押えて閉状態にしてから取付けてください。

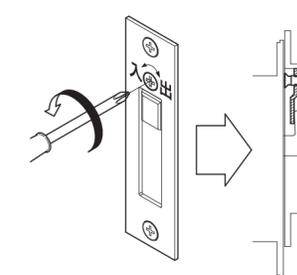


**【引戸錠のかかり調整】**

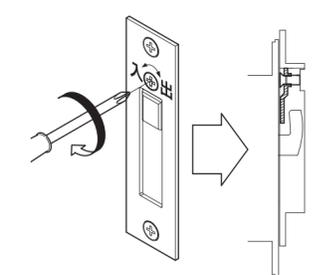
- ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



●本体と枠のすき間が大きい場合  
調整ねじを左に回して調整してください。



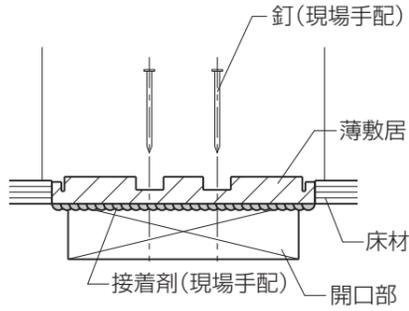
●錠がかかりにくい場合  
調整ねじを右に回して調整してください。



〔薄敷居の取付け(ツバ付・ツバなし薄敷居共通)〕

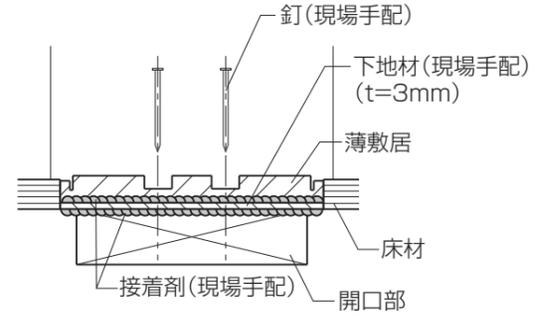
●床材厚さ12mm

※必ず薄敷居に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。  
 ※釘は端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤(現場手配)と併用して取付けてください。



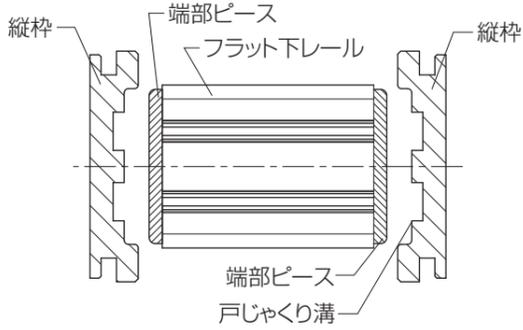
●床材厚さ15mm

※必ず薄敷居と下地材に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



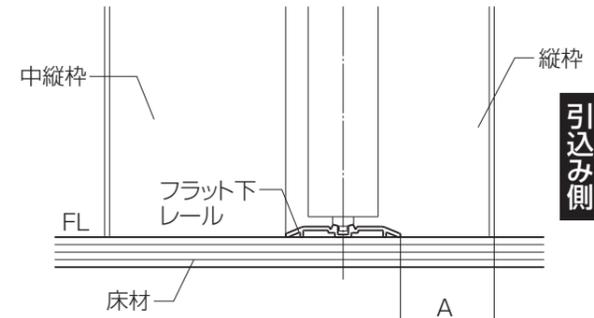
〔フラット下レールの取付け〕

①フラット下レールに同梱されている端部ピースを縦枠戸じゃくり溝側にはめ込みます。



●片引き枠

※引込み側にA寸法あけて仮置きしてください。



※中縦枠部は〔埋込敷居の取付け〕を参照してください。

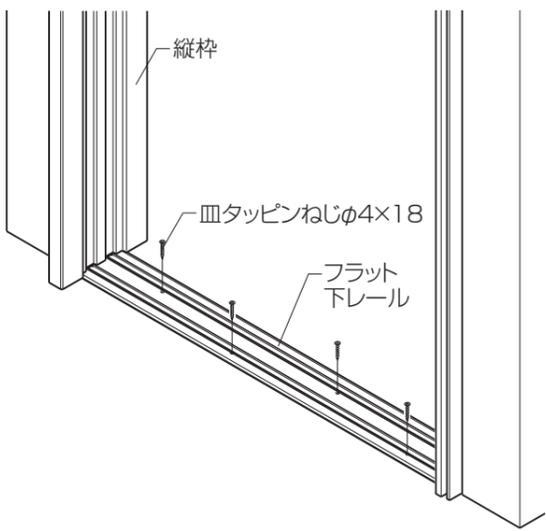
枠種類	A
NC90(片引戸)	4.5
NC115(片引戸)	17
NC156(片引戸・引分け戸)	37.5
NC171(片引戸・引分け戸)	52.5
NC180(片引戸・引分け戸)	61.5
NC180(片引戸2枚建)	26.5
NC210(片引戸3枚建)	21.5
薄壁(片引戸・引分け戸)	17
厚壁(片引戸・引分け戸)	44
C付150(片引戸2枚建)	17
C付190(片引戸3枚建)	22

②縦枠に合わせて仮置きしてください。

●引違い枠

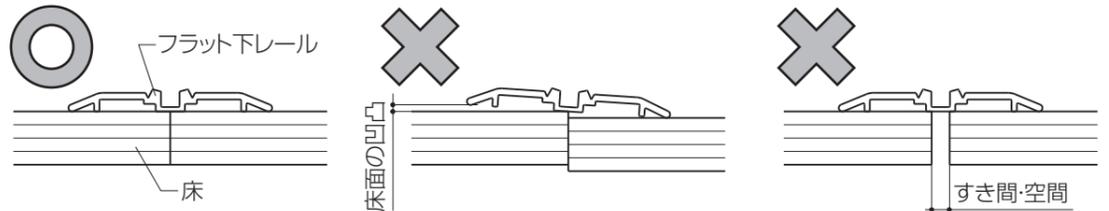
※はめ込んだ端部ピースを縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。

③フラット下レールをねじ(皿タッピンねじφ4×18)で固定します。



お願い

※床(下地)は段差やすき間がないように仕上げしてからフラット下レールを固定してください。



お願い

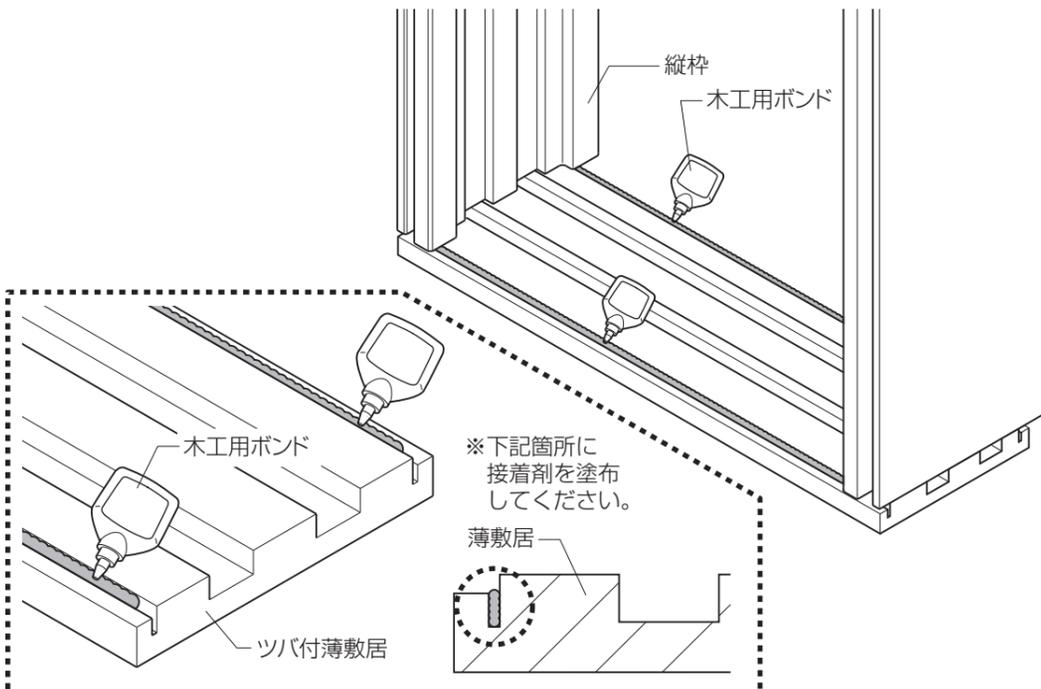
※取付けねじを締めすぎないでください。フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。



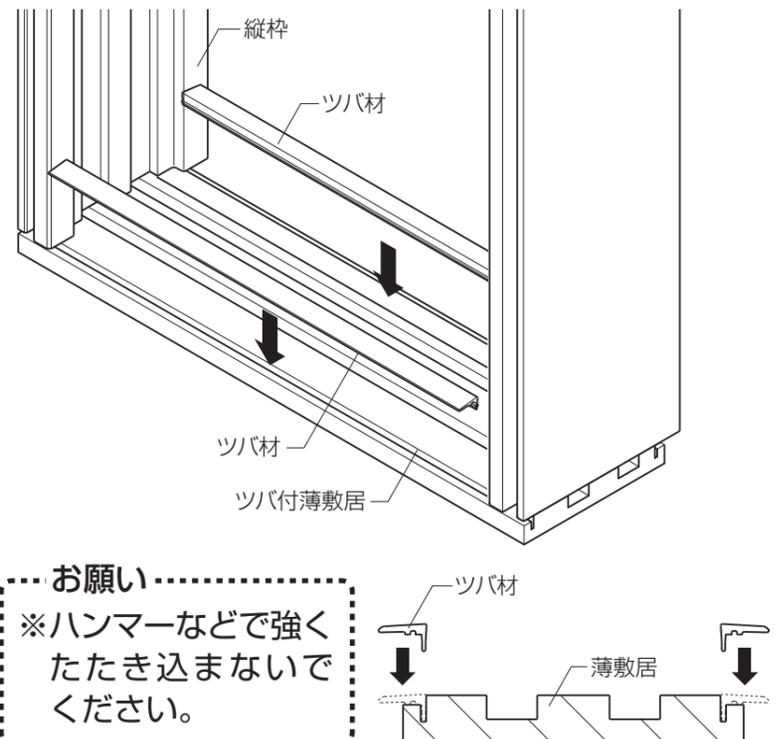
③ツバ材の取付け

(ツバ付薄敷居を使用する場合のみ)

①現場でツバ材の寸法を開口に合わせて切断してください。  
 ②薄敷居の溝に木工用ボンド(現場手配)を溝全長に隙間無く塗布してください。



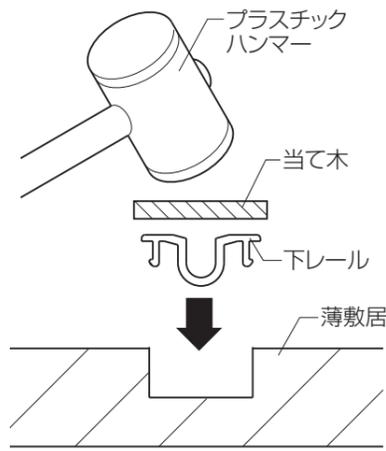
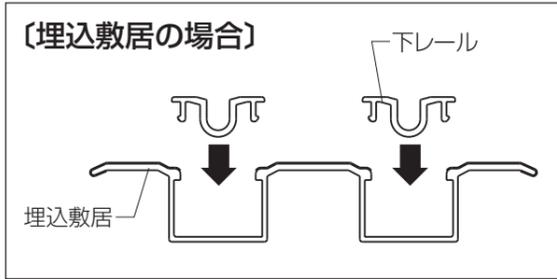
③ツバ材を溝に手ではめこんでください。



お願い  
 ※ハンマーなどで強くたたき込まないでください。

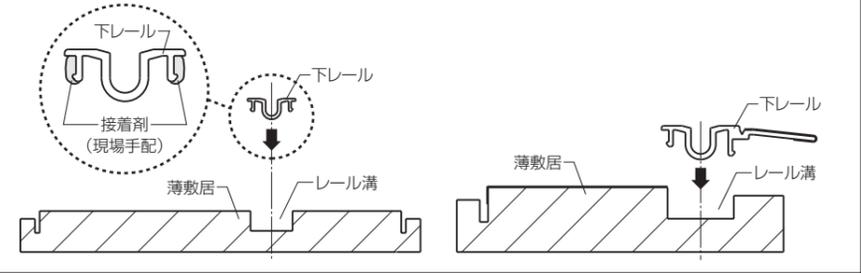
#### 4 下レールの取付け

●敷居の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。



※接着剤(現場手配)は、レール溝にガタのある場合に使用してください。

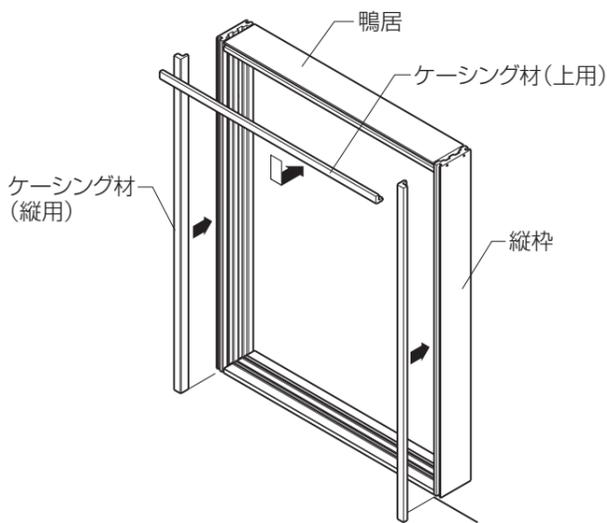
※薄敷居下レールNC90用 NC90の場合、Vレール側はツバ形状が一体化になっています。



#### 5 ケーシング材の取付け(ケーシングタイプのみ)

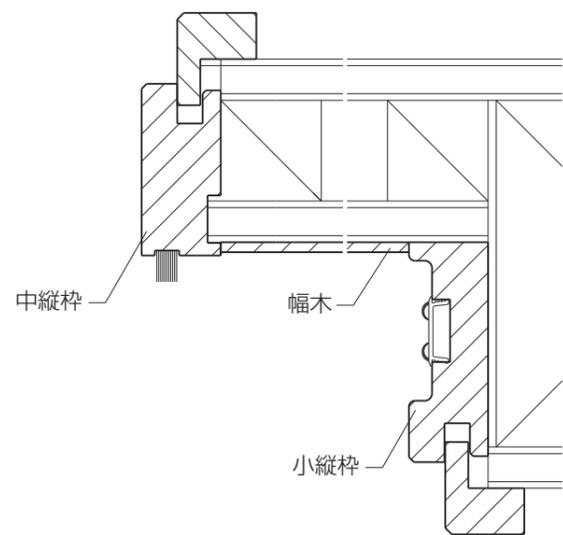
※壁材・床材を仕上げからケーシング材を取付けてください。

- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合せて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。



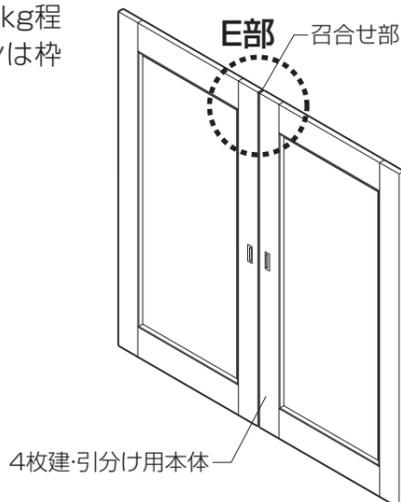
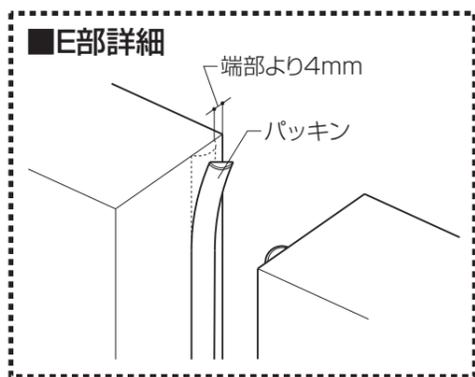
#### 6 幅木の取付け

※片引き用枠には、小壁のボードと埋込敷居又はフラット下レールを見切るために幅木が同梱されています。必ずご使用下さい。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤(現地手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは、200~300mmです。



#### ■ 召合せパッキンの取付け(4枚建・引分けのみ)

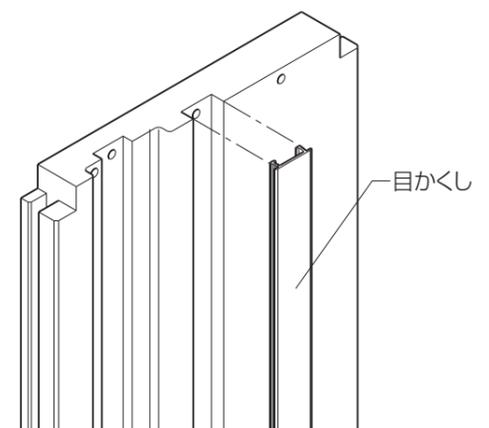
※4枚建・引分け用本体の召合せ部に、枠に同梱のパッキンを取付けます。パッキン裏面のシートをはがし、5kg程度の力で手で押しつけて張付けてください。(パッキンは枠の梱包に入っています。)



#### ■ 目かくしの取付け

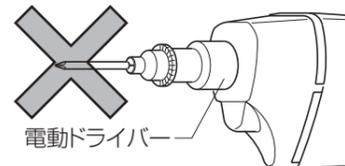
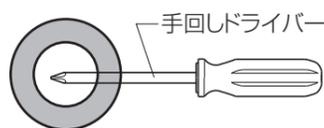
※片引き3枚建のみ

●縦枠中央の溝に目かくしを戸当たりと同様に接着剤(現場手配)で取付けてください。



#### ■ 建付け調整

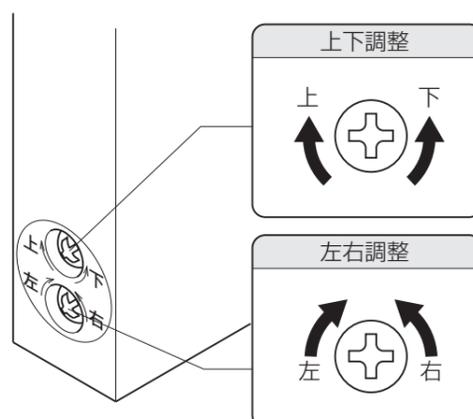
※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。  
※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



#### 〔上下調整(調整幅+4mm、-2mm)〕

※鴨居に5mm以上かかるよう調整してください。

- ①本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
- ②調整後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あるか、確認してください。



#### ▲ 注意

●本体と鴨居へのかかりを5mm以上確保してください。かかりが少ない場合は、本ページの建付け調整を必ず行ってください。本体が枠から外れてケガをする原因になります。